

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	演劇
----	----	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制 該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな	かぶしきがいしゃでらしねら		団体ウェブサイトURL
制作団体名	株式会社デラシネラ		https://derashinera.jp
代表者職・氏名	代表取締役・小野寺修二		
制作団体所在地	〒 113-0034	最寄り駅(バス停)	御茶ノ水駅
	東京都文京区湯島2-4-3-808		
電話番号	03-3816-7603		
ふりがな	かぶしきがいしゃでらしねら		団体ウェブサイトURL
公演団体名	株式会社デラシネラ		https://derashinera.jp
代表者職・氏名	代表取締役・小野寺修二		
公演団体所在地	〒 113-0034	最寄り駅(バス停)	御茶ノ水駅
	東京都文京区湯島2-4-3-808		
制作団体 設立年月	2008年 3月		
制作団体組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 小野寺修二 代表取締役 小野寺桃子	構成員の数:2名(左記の役職員) 加入条件:可ンパニーデラシネラ活動の普及と、より深化した芸術活動を目指す。	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者置く	本事業担当者名	藤田桃子
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名	日野一義
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	derashinera@gmail.com		

<p>制作団体沿革</p>	<p>代表・小野寺修二はマイムカンパニー「パフォーマンスシアター水と油」を結成し、1995年～2006年活動。その後、「カンパニーデラシネラ」を立ち上げる。活動の継続が認められ、財団等から依頼を受け、演出を担当することも多い。静岡芸術劇場(「オイディプス」2012年、「変身」2014年・2017年)、高知県立美術館(「異邦人」2010年、「ドン・キホーテ」2016年、「はだかの王様」2021年)、神奈川芸術劇場(「ゲーム」2012年、「Without Signal」2017年、「Knife」2020年)、りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館(「オフェーリアと影の一座」2016年)、新国立劇場(「カラマーゾフの兄弟」2012年、「ある女の家」2014年、「ふしぎの国のアリス」2017年、2022年)、東京芸術劇場(「あの大鴉、さえも」2016年)、世田谷パブリックシアター(「現代能楽集IX 竹取」2018年)など。劇場での一般公演の他、マイムを出発とした身体表現の強みを活かし、海外アーティスト・ろう者とのコラボレーション、観客層を広げるために青少年へのアプローチに積極的に努めている。</p>		
<p>学校等における公演実績</p>	<p>平成 29 年度「ロミオとジュリエット」 長野県長野市:信州大学附属長野小学校 1公演 平成 30 年度「ドン・キホーテ」 豊橋徳の国とよはし芸術劇場プラット主催 中学生鑑賞事業4校 岡山県福武教育文化振興財団主催 小学校鑑賞事業 1校 令和元年度「ドン・キホーテ」 北区文化振興財団主催 スクールコンサート1校 宮崎県都城市総合文化ホール主催 小中学校鑑賞事業3校 令和2年度「ドン・キホーテ」 宮崎県都城市総合文化ホール主催 小中学校鑑賞事業4校 令和3年度「ドン・キホーテ」 宮崎県都城市総合文化ホール主催 中学校鑑賞事業1校 令和5年度「はだかの王様」 新潟市民芸術文化会館主催 小学校鑑賞事業3校</p>		
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>平成 29 年度「ロミオとジュリエット」 筑波大学附属大塚特別支援学校 1公演 平成 30 年度「ドン・キホーテ」 筑波大学附属大塚特別支援学校 1公演 令和3年度「ドン・キホーテ」 宮崎県都城市総合文化ホール主催 さくら聴覚支援学校公演</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtu.be/wCl9ve8dv7Q?si=nV85fHarNU7KNLOj</p>		
<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	<p></p>	
<p></p>	<p>PW:</p>	<p></p>	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 株式会社デラシネラ 】

対象	小学生(低学年)	○	/
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	○	
企画名	カンパニーデラシネラ『はだかの王様』		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	『はだかの王様』 原作/ハンス・クリスチャン・アンデルセン 演出/小野寺修二		
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当あり	該当コンテンツ名 JASRAC
	該当事項がある場合	権利者名 JASRAC	許諾確認状況 採択後手続き予定
演目概要	アンデルセン原作の童話『はだかの王様』は、群衆が共有した「幻想」を否定する(子どもが真実を指摘する)ことを軸としています。カンパニーデラシネラ『はだかの王様』では、忖度の糾弾という道徳的な切り口だけではなく、真実と嘘、現実と妄想のあやふやな境界線について着目し、身体表現に富んだ一時間の作品に仕上げました。身近にあるただの棒を何かに見立てたり、実際にはないものを観客が想像した結果、見えてくるものの豊かさについて考えています。演出家小野寺修二はパントマイム出身で、身体性に着目した舞台作品を数多く発表しています。またこのプロジェクトは、プロダクトデザイナー石黒猛を美術家として迎え、作品中の様々な小道具が電動で動く仕組みとなっています。体育館という日常の空間は、デラシネラと石黒猛の美術によって異空間へと誘われ、観客の想像力によって大いなる非日常へと飛躍します。		
演目選択理由	児童にとって馴染みのある童話『はだかの王様』を、独自の観点から、想像力を大いに刺激するパフォーマンスに展開しています。観客はあらすじを追うだけでなく、表現の可能性や新たな物の見方、視点に気づく機会となります。今作は台詞の一切ない作品で、小学校の低学年から大人まで、それぞれに楽しめる作品とご好評頂いています。観客の観察する力と想像する力を、最大限に引き出す演目です。		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	演目内で、生徒に問いかける箇所や、生徒に手伝ってもらうシーンがあります。その他、舞台上で生徒(希望者2名ほど)と一緒に踊る場面があります。また、人物関係図やあらすじが載ったパンフレットを配布し、作品理解が深まるよう努めます。		
出演者	出演(予定): 小野寺修二、藤田桃子、崎山莉奈他 出演者総数 5名		
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 5 名 スタッフ: 4 名 合計: 9 名	運搬	積載量: 4 t (近郊の場合2t) 車長: 約6.2 m 台数: 1 台

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	11時	11時～13時	13時～14時	0分	14時～15時	15時
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。						

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
				0日	0日	
	11月	12月	1月	計	16日	
	0日	16日				
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。						

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	2名
		鑑賞人数目安	10人～400人(1回200人を超える場合複数回実施)



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)



※採択決定後、図面等の提出をお願いします。

【公演団体名 株式会社デラシネラ 】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	～約60人(30人以上は、1時限ずつ行う)
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>ワークショップでは、体育館にて出演者と一緒に、体操服に着替えた生徒が動きます。他人とタイミングをあわせ動くことは、他者に対する想像力や、思いやりの心に繋がります。そして出演者の見本を真似することから出発し、生徒各々がイメージした動きを、実際に身体を動かしながら体験します。</p> <p>【実施形態】 体育館にて、ほぼ全面に広がって動く。動きやすい体操服、体育館履きでの参加をお願いします。状況によって(マスクをしている等)マイクを使用。その他、音響機材の使用なし。仕込み等、事前準備は特に予定していません。</p> <p>【内容】 相手の真似やピタッと止まる人形振り、それぞれをの身体に着目してみる。 二人組みになり相手と一緒に動く。お互いに相手を支えたり、交互に動くゲーム。 演目中で行われるマイムの動きを、同じく実際に身体を動かしてみることにより、本公演での作品理解がより深まります。</p> <p>【タイムスケジュール目安・小学校45分の場合】 パフォーマンス・挨拶(10分) 実際に立って身体を動かす。(5分) 人形振りや真似っこゲーム等(15分) 二人組みになって相手と一緒に動く。お互いに相手を支えたり、交互に動くゲーム(15分) 相手を見て動く演劇的アプローチ(15分)</p>		
ワークショップの ねらい	<p>パントマイムで大切なことは想像力と、物事をよく観察することです。その二つをテーマに、相手の真似をすることから始め、随時発表の機会を交えながら、お互いに見合い尊重しあいながら、いろいろな動きに取り組みます。パントマイムの特性である創造性と想像力を大切にし、舞台を身近に感じてもらえるよう、事前に学校を訪れ、生徒とコミュニケーションを取りたいと考えています。</p>		
その他ワークショップに 関する特記事項等	<p>特別支援学校や、ろう学校でのワークショップもこれまで数度経験を重ねています。正解を求める動きではなく、立つ、座る、歩くなど日常の基本動作を起点にし、各々の自発性に着眼しています。そのため、生徒それぞれが可能な範囲で、このワークショップを楽しんで頂けます。</p>		

本事業への申請理由

【公演団体名 株式会社デラシネラ 】

①本事業に対する取り組み姿勢

デラシネラのカンパニー理念は、シンプルの中に豊かさを見つけることです。自分の身の回りにあるものに目を向け、丁寧にじっくりとその物事を見つめる目を大切にしています。作品は、パントマイムの動きをベースにした独自の演出で、舞台上の身体から発せられる情報を、観客がさまざまに解釈、想像できる作風は、幅広い世代の注目を集めています。パントマイムで大切なことはイメージすること、観察することです。今、さまざまに変化している世の中において、他者に対して敏感になること、思いを馳せること、触れることのなかった文化や表現に出会い尊重する気持ちを育むことは、舞台表現の大いなる可能性です。それらが生徒達のワクワクに繋がるよう、パントマイムの特性である創造性と想像力を活かし、舞台を身近に感じてもらえるよう、生徒とコミュニケーションを取りたいと考えています。

②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

小・中学生への鑑賞公演を近年集中的に持たため、前回の反省を踏まえ毎年改善を重ねています。デラシネラの作品は表現に富んだ演劇ということもあり、低学年も各々自由に楽しんで観劇しています。質の高い「文化芸術」を提供する立場で教育現場に赴く責任を、カンパニー全員で共有し、生徒たちが舞台表現を身近に感じられる出会いの場となるよう努めています。また、生徒たちの観劇環境、見易さへの工夫、集中力持続に向けても、改善を重ねています。

また、各々の学校への連絡を十全に行っています。事前に各クラス生徒が座る位置指定が出来るよう、クラスごとの人数を把握し担当教員と打ち合わせを行っています。ワークショップ実施にあたってはこまめに連絡をし、生徒の情報やクラスの特徴を把握することに努めています。また必要があれば過去に実施した際の写真等お送りし、事前のイメージ共有を行っています。その他ワークショップの際、本公演当日のトラック導線、電源の位置、体育館の様子など下見を行い、写真を撮ってスタッフと共有することで、公演時の仕込みがスムーズに進められるようにしています。

**本事業に対する
取り組み姿勢、および
効果的かつ円滑に実施
するための工夫**